

令和7年2月27日

(環境省同時発表)

(金城学院大学同時発表)

市政記者クラブ 様

環境局環境企画部環境企画課

担当：土屋、池田（電話：972-2664）



八竜緑地・金城学院大学の里山が 「自然共生サイト」に認定されます！

「八竜緑地・金城学院大学の里山」の生物多様性の価値が評価され、「自然共生サイト」として環境大臣認定されることが決定しましたのでお知らせします。なお、認定証の交付式は3月27日に金城学院大学（名古屋市守山区）で行われる予定です。

1 自然共生サイト認定制度について

生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で採択された世界目標の一つである「30by30（陸域と海域の30%以上の保全を目指す目標）」の達成に向け、民間の取組等により生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度で、令和5年度より開始されています。

2 「八竜緑地・金城学院大学の里山」の生物多様性の価値について（※詳細は別紙参照）

市内の象徴的な里地里山の一つである「八竜緑地・金城学院大学の里山」は、以下のような生物多様性の価値が認められ、「自然共生サイト」に認定されることとなりました。

① 生物多様性の恵みを提供する場

多様な動植物種が生息し、散策、自然とのふれあい、憩い、環境学習など生物多様性の恵みを市民に提供する貴重な場である。

② 希少な動植物種の生息の場

オワリサンショウウオなど希少な動植物種が生息・生育している。

③ 熱心な保全活動、環境教育の場

市民団体や大学による熱心な保全活動により、里地里山が適切に維持されているとともに、環境教育の場としても長年活用されている。



オワリサンショウウオ
名古屋市レッドリスト2020
絶滅危惧ⅠA類*

※2020当時の名称はヤマトサンショウウオ

参考 本市の自然共生サイト認定について

本市では2030年までに市域で5か所以上の自然共生サイト認定を目標に掲げています。これまでに「なごや東山の森」など3か所が認定されており、今回が4か所目の認定になります。



市ウェブサイト
「自然共生サイト」

参考 環境省中部地方環境事務所主催 自然共生サイト認定証授与式について

(1) 開催日時・場所

令和7年3月27日(木) 14時00分～15時00分

金城学院大学 音楽ホール(リリーハーモニー) (名古屋市守山区大森2丁目1723)

(2) プログラム(予定)

- ・開式挨拶
- ・認定証授与(愛知、三重で計5か所)
- ・記念撮影
- ・認定団体からのサイトの紹介
- ・閉会挨拶

<見学会> ご希望者のみ(案内あり)

15時10分～16時00分 自然共生サイト「八竜緑地・金城学院大学の里山」

(3) 授与式の取材申込・問合せ先

会場での取材を希望される場合は、中部地方環境事務所に申込みを行ってください。

《申込方法》

「自然共生サイト認定証授与式 取材希望」と明記し、

(1) 所属・肩書き (2) 氏名 (3) 連絡先(電話番号、メールアドレス)を
下記問合せ先のメールアドレスまでご連絡ください。

《申込締切》

令和7年3月14日(金)

《申込先・問合せ先》

環境省中部地方環境事務所

担当：自然環境調整専門官 山崎英也

E-mail：REO-CHUBU@env.go.jp

TEL：052-955-2131(直通)

自然共生サイト「八竜緑地・金城学院大学の里山」の詳細

場所：八竜緑地・金城学院大学の里山（名古屋市守山区）

面積：18.98ha（内保護区面積：7.11ha）



市ウェブサイト
「自然共生サイト認定
八竜緑地及び金城学院大学の里山について」

生物多様性の価値：

① 生物多様性の恵みを提供する場

在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存在し、自然に親しめる散策路があり、都市部である名古屋にとって生物多様性がもたらす恵み（生態系サービス）を市民に提供する貴重な場所である。

② 希少な動植物種の生息の場

オワリサンショウウオ（IA）、ヒメタイコウチ（II）、マメナシ（IB）、シラタマホシクサ（IB）など貴重な動植物の生息・生育が確認されている（ランクはいずれも市のレッドリスト）。

（参考）絶滅危惧種ランク

絶滅危惧 IA 類・・・ごく近い将来野生絶滅の可能性が極めて高い

絶滅危惧 IB 類・・・IA ほどではないが危険度高い

絶滅危惧 II 類・・・絶滅の危険が増大している

③ 熱心な保全活動、環境教育の場

「水源の森と八竜湿地を守る会」や「金城学院大学里山コンサベーション（KSC）」による熱心な保全活動により、里地里山が適切に維持されているとともに、小学校の総合学習や大学の授業・サークル活動など環境教育の場としても有効に活用されている。

④ その他

生物多様性保全上の重要性が既に環境省に認められるなど非常に重要な場所となっており、その点も今回の認定の要素となっています。

・「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」に選定（環境省、平成 13 年（27 年改定））



八竜緑地 本湿地

認定区域：

自然共生サイト 八竜緑地・金城学院大学の里山

